

	委員 1	委員 2	委員 3	運輸局
多 気 町 地 域 公 共 交 通 会 議	<p>町が主体となり公共交通計画を策定し、高齢者の方も公共交通で移動できるビジョンを描き、Vison にもその実現に協力を依頼して欲しい。</p>	<p>高齢者や小学生への利用促進がコロナの影響でできなかったということだが、今後もコロナは続くため、時期をみて実施して欲しい。 →コロナの状況を見ながら実施したい。</p> <p>町外から、町内から共に Vison へ公共交通で行けるように考えて欲しい。周辺市町とも連携し、拠点を軸とした公共交通ネットワークを展開されることに期待したい。 →三重交通と検討中である。他市町と連携しつつ、よいネットワークができるように取り組みたい。</p>	<p>利用促進は、緊急事態宣言解除後にしっかり取り組んで欲しい。高齢者にとって外出できないのは弊害が大きいため、感染症対策をした上で外出の機会を提供して欲しい。</p> <p>Vison は大変大きい観光施設なので周辺自治体から車に乗らず来訪できる交通環境を整備してほしい。 →周辺市町の商工会と連携し遠方から公共交通で来訪できるように調整している。</p> <p>でん多と幹線のバス停をあわせているが、そもそも乗り継ぎがあるのか。乗り継ぎを意識するのであれば、ダイヤや乗り継ぎ割引の考慮が必要。でん多はポテンシャルが高いが需要に対応できていない。 →予約制であるため、地域間幹線系統のダイヤに合わせて予約できる。乗り継ぎ割引の導入には至っていないが、今後考えていきたい。実際の乗り継ぎは 10 月 15 名程度あった。</p> <p>未だ地域公共交通連携計画であることが課題である。Vison ができたら地域公共交通計画に見直す予定と聞いている。 →Vison の動向をみて、計画策定したい。</p>	

	委員 1	委員 2	委員 3	運輸局
鳥羽市地域公共交通協議会	<p>地域住民に必要とされる交通としての取り組み強化も進めてほしい。</p> <p>観光客にとっても使いやすいものとし、利用促進に努める必要がある。</p> <p>公共交通で観光に行く若い人が増えているので、GTFS など一見さん向けの情報発信をすると良い。</p> <p>路線ごとに性格が違うので、それぞれに対応した取り組みをしてほしい。</p>	<p>高校生との連携を意識していることは評価できる。感染症対策を進めて今後も取り組んでほしい。</p> <p>→実施に向けて取り組んでいく。</p>	<p>路線ごとの評価ができていないので、新しい計画では路線ごとで評価をできるようにしてほしい。</p>	<p>(交通政策部) 定期航路と市内のバスについて、コロナで減少した利用者に今後どう対応していくのかを考える必要がある。</p> <p>(交通政策部) ホテルの送迎車両を活用した取り組みを計画している地区があると聞く。観光輸送の中で位置づけが重要なので策定予定中の公共交通計画に記載を願いたい。</p> <p>→実施団体とは連絡を取りながら進めている。公共交通計画にも取り組みを記載し、横展開も視野に入れている。</p>

	委員 1	委員 2	委員 3	運輸局
尾鷲市地域公共交通活性化協議会	<p>満足度を点検することは良いが、満足度を目標にすることは見直しても良いかもしれない。</p> <p>三重交通との乗り継ぎ割引、地元スーパーとの協賛事業、JR の利用促進などは良い取り組みなので、それぞれの効果について把握していただきたい。</p>	<p>コロナ禍でバスを利用している人にアンケートをしても、満足度が高い結果になるのは当然。乗っている人に満足をもたらす公共交通は大切だが、何年かに一度は市民全体に対する意識調査が必要。→利用者アンケートだけでなく、総合計画と合わせて市民 1000 人に公共交通に対するアンケートを実施しており、時期の計画に市民の意見を反映する予定。</p>	<p>高校の通学環境を整えることが重要。まずは下宿させない、自宅生の場合は公共交通で通ってくれるのが何パーセントかというようなことを確認してはどうか。尾鷲高校への通学者数のみを見て意義がないと判断するのは早計。</p> <p>高齢者が免許返納やクルマをやめ、バスでも生活できると思ってもらうことが大切。高齢者に声かけをして、バスを使ってもらうということが大事になる。それぞれの地区で日常的に公共交通を使う人の割合が分かるような指標があるとよい。</p> <p>尾鷲駅で鉄道と三重交通バスの乗り継ぎが円滑になるべき。 →尾鷲駅口のバス停が遠いというのは問題だと認識している。</p> <p>松阪熊野線については新計画にも位置づけをしていくべき。他の市町とも連携していただきたい。</p>	

	委員 1	委員 2	委員 3	運輸局
三重県全体	<p>ネットワークで考える上では三重交通全体が GTFS で検索できるようにした方がよい。</p> <p>→取組中であり、停留所間は検索できるが、施設間などの検索がうまくいかないようである。</p>	<p>系統別の評価は、コロナの影響で同じC評価になっているものでも細かい分析を行うことで、個別の対応を検討していく必要がある。通勤がテレワークで少なくなった路線、病院に行くための路線が減ってしまっているなど把握をお願いしたい。</p> <p>→系統ごとの分析は必要と考えている。次年度も目標値も検討が必要と認識している。</p> <p>コロナ対策支援は重要。今後もコロナが続く中、県民に対して公共交通の大変な状況を発信していく必要がある。</p> <p>→取り組んでいく。</p> <p>スマホの普及率も高くなっているため、見える化事業も引き続き実施して欲しい。</p> <p>→県下 100%を目指し市町が取り組みやすい環境整備を進めていきたい。</p>	<p>検索はコミュニティバスだけでも効果が薄い。路線バス全体を対応すべき。</p> <p>国様式の評価シートにて、全部冒頭にコロナ禍のことが記載されており、個別の内容が分かりにくい。全系統に同じ内容はまとめて記載すべき。</p> <p>→今後注意する。</p> <p>地域間幹線系統については、市町がどのような対応するかを把握して、計画に記載していく必要がある。実効性のあるやり方を考えるべき。</p> <p>地域間幹線系統の見える化を実施すべきである。鉄道と地域間幹線システムのマップを作成してはどうか。そこに観光地も掲載するとよいのではないか。</p> <p>→マップについては一度検討したい。</p>	<p>(交通政策部) 補助金と地域公共交通計画の連動が予定されているため、計画策定が必要になる。県としての幹線の役割を明確にしていって欲しい。</p> <p>→地域鉄道について、再構築を実施している以外の2社が苦しい。法改正でよい方向になる取組みがあれば教えていただきたい。</p>